

9月のできごと

巨大地震に備え、大規模訓練を実施

静岡県・富士宮市・富士市総合防災訓練

9月1日 市内各地

静岡県第4次被害想定に示された、市内の広い範囲で震度6弱以上の地震が起きたことを想定し、市内各所で地域性を考慮した訓練が行われました。

吉永北・大淵地区では、富士山の噴火を想定し、地区住民がバスや自衛隊車両で、避難所と想定した常葉大学富士キャンパスへ避難する訓練を実施。同校では、気象庁地震火山部火山課長の山里平さんによる防災講座が開催され、熱心にメモをとる参加者もいました。

また、田子の浦港周辺では、大津波の発生を想定して、津波避難タワーへの避難訓練のほか、被災船からの救助訓練、津波堆積物からの救出訓練、津波漂流者救出訓練など、ヘリコプターや巡視船による訓練が行われました。

各会場には、川勝平太静岡県知事と鈴木尚富士市長が視察に訪れ、訓練内容を確認していました。



①



②



③



④

- ①富士山火山噴火避難訓練（大淵第二小学校）
- ②自主防災組織による図上訓練（ふじさんめっせ）
- ③津波堆積物からの救出訓練（田子の浦港）
- ④被災船からの救助訓練（田子の浦港）

「第2の人生」への手がかりに

セカンドライフ相談室出張相談会・パネル展示会 9月4日 中央図書館

定年退職後のセカンドライフ（第2の人生）についての情報を提供する「セカンドライフ相談室」による出張相談会とパネル展示会が行われました。

パネル展示では、これまでの還暦フェスティバルの様子や市内にある42の市民活動団体の活動内容などを紹介。（「社」まちの遊民社のスタッフが、「学ぶ」「趣味」「働く」「貢献」など、来場者それぞれの要望に合わせ、活動団体を紹介したり、セカンドライフについての相談に応じたりしていました。



▲市民活動団体のパネルを見ながら活動内容などの紹介・説明を受ける参加者



▲かりがね護所太鼓保存会の演奏
手筒花火▶

郷土芸能30周年の歩みを祝う

雁鼓祭^{がんこまつり}

9月14日 かりがね堤

この祭りは、岩松地区など市内6地区の子どもたちで組織される「かりがね護所太鼓保存会」の30周年を記念して開催されました。会場では、見事なばちさばきの迫力ある太鼓演奏のほか、地元によさこいチームによる演舞も披露されました。太鼓ふれあいコーナーも設けられ、来場者は自由に太鼓の演奏を体験していました。最後には、約30分間にわたる「駿州木嶋手筒組」による手筒花火と太鼓の共演が行われ、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。



▲「食のわくわく体験コーナー」に設けられた、食材のカロリー展示

「食」からはじまる健康づくりを推進

2013健康まつり

9月22日 フォーリンセ

市民の健康増進を目的に、ことしも健康まつりが開催されました。健康コーナーでは、ミニ健診やさまざまな健康チェックが行われ、多くの来場者が自身の健康について再確認していました。

また、「健康ふじ21計画Ⅱ」のことしのテーマ「食生活」にちなみ、「食のわくわく体験コーナー」が設けられました。体脂肪測定や体内年齢測定のほか、食生活診断ゲーム、肥満体験など、「食」と「健康」を考える催しに、多くの来場者が集いました。

富士市森林墓園使用者募集

■募集墓所数

普通墓所48墓所(予定)・芝生墓所36墓所(予定)

■応募資格

平成24年11月5日以前から市内に在住し、市の住民基本台帳に登録されている人

■使用料

1区画50万円(一括払い込み)

■管理料

普通墓所/年額 5250円(税込み)

芝生墓所/年額 6300円(税込み)

■申し込み

11月5～15日(土・日曜日は除く)の9～17

時に、①墓所使用申込書(環境総務課で配布、市ウェブサイトダウンロード可)、②申込者の住所・世帯全員の氏名が確認でき、本籍・続柄がわかる住民票の写し1通、③認め印、

④焼骨のある人は、火葬済証明書などの写しを持参し、直接環境総務課(市役所10階)へ

※事前に、「募集案内書」(環境総務課で配布、市ウェブサイトダウンロード可)を確認してください。

※申し込み人は、事前に現地(桑崎991-11)をごらんください。

※申し込みから使用可能まで約1か月かかります。

お問い合わせ/環境総務課

☎(55)2768 ☎(51)0522

全5000墓所のうち、今後新規募集をする墓所数は残り295墓所です。

新規募集予定区画
■ 募集が終了した区画

